

令和4年7月22日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和4年7月22日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに136件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,546件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累計
登録件数	136	13,546
関係都道府県数	32	47
関係市町村(区)数	60	1,002

○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和	計
新規登録	37	36	22	41	136
累計	2,419	4,267	2,748	4,112	13,546

○種別 (件)

	産業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	4	7	15	0	3	5	0	3	63	36	0	0	136
累計	123	1,419	1,694	513	240	422	337	463	6,063	1,964	223	85	13,546

(件)

	建築物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	119	1	16	136
累計	10,752	664	2,130	13,546

今回の答申における主なもの

① ^{おうしゅうかいどう}奥州街道の歴史的景観を伝える大型養蚕民家
008 松田家住宅主屋 福島県国見町 明治43年

奥州街道の^{かいだしゆく}旧貝田宿に位置する大型養蚕民家。街道側を^{いりもやづくり}入母屋造として家の構えとし、反対側を^{きりづまづくり}切妻造で棟に煙出しを設け、養蚕のための造りとする。大火後の建築のため軒裏まで^{しっくい}漆喰で塗込め、雨戸や戸袋を鉄板張とし、厳重に防火に備え、独特な外観を呈する。伝統芸能の発表会を行うなど活用に取り組む。



② アントニン・レーモンド設計のモダニズム大規模邸宅
021 ^{あかほしてつま}旧赤星鉄馬邸 東京都武蔵野市 昭和9年

^{せいけい}成蹊学園の南に広大な敷地を構えた実業家の邸宅で、建築家アントニン・レーモンドの設計。中央で屈曲した東西に長い中廊下型平面で、連続窓で水平線を強調する。キャノピーを差し出した玄関に、スリットを入れた曲面壁の階段室を付し、コンクリート造形の可能性を追求した。



③ 特異で洗練された^{まつもとだいら}松本平の彫刻付社殿
055・056 ^{つうそ いまい かねひら}續麻・今井（兼平）^{つうそしゃ かねひらしゃ}神社續麻社・兼平社

長野県松本市 安政6年（1859）・天保4年（1833）

松本平南西の^{きそよしなか}今井地区にある木曾義仲に従った^{いまいかねひら}今井兼平を祀る社と續麻社を合祀した神社の社殿。^{いっけんしゃながれづくり}一間社流造の形式で優れた技量を遺憾なく発揮した彫刻で飾る。重要文化財田村堂などを始めとする、この地域に存続する特異で洗練された彫刻を施す社殿の好例。

（写真は手前が續麻社、奥が兼平社）



④ 太平洋を望む鰹節製造の燻しと黴付けの小屋

088 かつおの天ぱく作業場 三重県志摩市 昭和26年

太平洋を望む大王崎に所在し、かつては波切漁港で水揚げした鰹を直ちに加工し、現在も鰹節製造をおこなう作業小屋。瓦葺き屋根、
立ていたかべの燻し小屋と黴付け小屋を一体で建て、
主屋との間の作業場に大屋根を架ける。焙乾窯等と共に鰹節製造の伝統的な工程を示す。



⑤ 日本遺産「葛城修験」を守り伝える行所の庫裏

096 堀越 観音庫裏 和歌山県かつらぎ町 江戸末期

和泉と高野山を往来する七越峠近くに所在する葛城修験行所の一つで、本堂西隣に位置する庫裏。茅葺き屋根、竈を置く土間、
むつまどりかざしきとして縁を回す農家風の庫裏。オダチ組の小屋など古式を示す。修験の歴史的景観を伝える。



⑥ 建築家磯崎新の初期代表作

134 旧大分県立大分図書館（アートプラザ） 大分県大分市 昭和41年

建築家磯崎新が設計した初期代表作で、郷里大分市の中心市街地に建つ日本建築学会賞受賞作。コンクリート打ち放しの巨大なペアウォールと中空梁が陰影織り成す外部と、スキップフロアを多用した空間構成は巧みで独創的。



提供：大分市教育委員会

<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）
課長 山下 信一郎
課長補佐 時枝 正和
登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）
審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
1	旧増川営林署庁舎(展示館しようわ)	青森県青森市	S12/同37頃増築・H20移築	かつて津軽海峡に面して建てていた営林署の洋風庁舎。下見板張り壁に縦長窓を並べ、漆喰仕上げの妻壁(つかかべ)には半円アーチ形窓をスクラッチタイトルの縁取りで飾る。現在は八甲田山を望んで展示館として活用する。	2	官公庁舎	建築物
2	旧松岡家住宅主屋	山形県長井市	E後期/H12・R2改修	長井盆地の田園地帯に所在する農家の屋敷。主屋は寄棟造り茅葺きで、正面中央に切妻造りの破風を付す。前蔵は元は茅葺きで、粗(もみ)を収める穀櫃(こくびつ)を備え、屋敷の表構えとなる。後の蔵は、北側は土間で作業場とし、南側は二階建ての板敷きで米蔵とした。馬屋は主屋の土間に接続し、馬房を二つ配して柱にマセ棒穴を残す。作業小屋及び牛舎は主屋の表側に離れて位置し、牛舎は東面に明かり取りと換気窓を並べ、柱にマセ棒穴を残す。屋敷林に囲まれて水田に浮かぶような屋敷構えで、稲作農家の歴史的景観を伝える。	1	住宅	建築物
3	旧松岡家住宅前蔵		M20/S中期改修		1	住宅	建築物
4	旧松岡家住宅後の蔵		M32/S中期改修		1	住宅	建築物
5	旧松岡家住宅馬屋		S7/S中期改修		1	産業1次	建築物
6	旧松岡家住宅作業小屋及び牛舎		M41/S中期増築		1	産業1次	建築物
7	近岡家住宅主屋	山形県最上郡金山町	E末期/S初期・同45改修	市街地から北西に所在する農家の主屋。大規模な中門(ちゅうもん)造りの建物で元は茅葺き。昭和中期に中門に二階座敷、座敷側に式台玄関を設け、広縁の正面側を窓とするとなど発展させる。正面に消雪池を設ける雪国らしい構え。	1	住宅	建築物
8	松田家住宅主屋	福島県伊達郡国見町	M43/S25改修	奥州街道貝田宿の明治大火後に建った大型養蚕民家。軒裏を漆喰塗籠(ぬりごめ)にして、雨戸や戸袋を鉄板張りにして蔵重に防火に備える。土蔵は大火を乗り越え、家財を収めた蔵で、当地の石蔵普及前の貴重な遺構。表門は切妻造り瓦葺きの門で、板扉を連ねて街道沿いの歴史的景観を形成する。現在、伝統芸能の発表会等に活用する。	1	住宅	建築物
9	松田家住宅土蔵		M24		1	住宅	建築物
10	松田家住宅表門及び板扉		S前期		1	住宅	工作物
11	富田家住宅主屋	茨城県笠間市	M前期	石材産地に所在する大型農家建築。広大な土間と広間、庭に面する続き間座敷を有する。座敷は笠間藩ゆかりの建物と伝わり、藩主家紋の釘隠しや精緻な箆欄間を配し、格式有る書院座敷とする。	1	住宅	建築物
12	田島新一家住宅主屋	群馬県伊勢崎市	文久元(1861)頃/M15頃増築・同中期・T後期改修	史跡田島弥平旧宅の近隣に建つ総二階建ての蚕種製造民家。越屋根を三箇所設けて、二階を蚕室とする。いわゆる三ツ槽の建物で、総構が成立する以前の貴重な遺構。	2	住宅	建築物
13	旧公正會館	千葉県銚子市	T15/S後期改修	ヤマサ醤油の十代濱口藤兵衛が設立した社会教育事業を目的とする公正會の會館で、鉄筋コンクリート造の洋風建築。正面はセセッションを意識した垂直性を強調する意匠で、二階は講堂で当時の映写室を残す。	2	学校	建築物
14	安藤家住宅主屋	千葉県袖ヶ浦市	E末期/S60頃改修	市街地から北東の旧代宿村にある農家。寄棟造りの主屋は元は茅葺きで、軒を出し桁造りとする。内部は土間と二列五室からなり、十五畳のチャノマに押板と仏壇を備え、上手は続き間座敷とする。正面二箇所式台を付すのはこの地方の上層農家の特徴。土蔵は主屋の南東にある家財蔵。稲荷社は主屋裏手に建つ一間社流造の祠。銅板葺き屋根で棟は成の高い箱棟風とした独特な造り。上総地方の典型的な農家。	2	住宅	建築物
15	安藤家住宅土蔵		E末期		1	住宅	建築物
16	安藤家住宅稲荷社		S初期頃		1	住宅	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
17	旧勘(あざみ)家住宅店舗兼主屋	千葉県印旛郡酒々井町	M中期/同40増築・S28改修・H30移築	佐倉街道酒々井(しすい)宿に所在する醤油や茶を扱った商家。重厚な土蔵造りで、一階正面格子戸で内部は土間とミセ、二階正面は手摺り付の開口として内部は床構え付きの広い座敷とする。賑わった街道の歴史的景観を伝える豪壮な店舗。	1	産業3次	建築物
18	亀井家住宅主屋	東京都世田谷区	S5	住宅街に所在する洋館付二階建和風住宅。玄関を東面道路路に向け、玄関脇に洋館、東西中廊下の平面とする。中央続き間座敷東西の階段は動線を公私に分け、各所に覗き窓を配し、要人の心様に備える。	2	住宅	建築物
19	岡田日帰上人記念講堂	東京都杉並区	S12/同15・同後期・H12改修	堀之内妙法寺西方にある立正高等女学校の鉄筋コンクリート造講堂。全体に装飾排して時代相を示すが、車寄せ廻りは八角窓やファンライトで荘厳する。講堂の客席は緩傾斜で、2階席平面は円弧を描く。	2	学校	建築物
20	旧板垣家住宅主屋	東京都足立区	S13/H17・R2改修	千住宿の日光・水戸街道分岐に位置する洋館付二階建て和風住宅。入母屋造りの玄関脇に設けた洋館は、切妻造りフランス瓦葺きで台形出窓が瀟洒。街道沿いの伝統的景観を形成し、現在、料理店として活用。	2	住宅	建築物
21	旧赤星鉄馬邸	東京都武蔵野市	S9	A・レ・モンドが設計した実業家の邸宅。屈曲した東西に長い平面で、外観は水平連続窓とする。キャノピーを差し出した玄関にはスリットを入れた曲面壁の階段室を構え、コンクリート造形の可能性を追求した。	2	住宅	建築物
22	旧佐橋家住宅主屋	東京都調布市	S11/同37移築・同60改修	教習者(すきしや)が自ら設計した茶室付きの和風住宅。玄関から仏間、茶の間、客付の三方に動線を分けて平面に工夫を凝らし、舟底天井茶室など、平面と空間構成に創意工夫がある。表門は甲州街道に開く庇びた外露地門で、背後に主屋の茶室へ飛石を延ばす。敷地全体で教習者の理想を表現する。	2	住宅	建築物
23	旧佐橋家住宅門		S11/同37移築		1	住宅	工作物
24	本覚寺本堂	神奈川県鎌倉市	T12	若宮大路の東に位置する日蓮宗寺院。本堂は桁行七間、梁間七間、正面に軒唐破風の向拝を付す。小屋組はトラス組として軽量化を図る。棟梁は十代伊藤平左衛門が務め、建立(こんりゅう)直後の関東大震災を乗り越えた。客殿は本堂東正面の南側に並び、入母屋造りの式台玄関を付し、銅板葺きの庇を三方に巡らす。内部は10畳の座敷を三室並べ、本堂側を上座敷として床構えを設ける。庫裏は切妻造り棧瓦葺きの東西棟で、入母屋造りの玄関を付す。内部は四室を田の字に配し、南西間を床構え付き座敷とする。本堂北の分骨堂は日蓮上人の分骨を納める廟堂で、方一間の身舎に装階を付す。鐘楼は本堂の北東、石積基壇上に建ち、干支の透彫欄間等、装飾豊富な鐘楼。手水舎は本堂の東にあり、欄間を龍や鳳凰の彫刻で飾る等、小規模ながら質の高い彫刻で華やかに飾る。楼門は、伽藍東辺の夷堂橋(えびすどうばし)西詰にある門。下層両脇間に金剛力士像を安置し、上層は一室の板敷、鏡天井とする。大門は伽藍北辺の小路に開く高麗門で門扉を省略する。装飾施した二段の絵様肘木や板幕股等の木柄太く、寺院の風格を示す。昭和の造営は本堂の副棟梁堀田太吉によるもので、関東大震災後の伽藍復興の様相を伝えるとともに、鎌倉の歴史的風致を形成する。	2	宗教	建築物
25	本覚寺客殿		S5		1	宗教	建築物
26	本覚寺庫裏		S前期		1	宗教	建築物
27	本覚寺分骨堂		S5		1	宗教	建築物
28	本覚寺鐘楼		S6		1	宗教	工作物
29	本覚寺手水舎		S前期		1	宗教	工作物
30	本覚寺楼門		安政2(1855)/M9移築・H25改修		1	宗教	建築物
31	本覚寺大門		S前期		1	宗教	工作物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
32	小田原宿なりのわい交流館(旧角吉(かどきち)店舗)	神奈川県小田原市	S7/H13改修	小田原宿中心部にある漁網店(ぎよらてん)の二階建て店舗で、出し桁造り、二階の出格子、下見板張り外観が特徴的。一階は土間と15畳のミセ、二階は漁具の作業場とした。水産業の歴史的景観を伝える。現在、観光拠点として活用。	1	産業3次	建築物
33	日本多家住宅主屋	神奈川県逗子市	S13	逗子駅近くの山裾にある洋風住宅。久米権九郎の設計で、束ね式の小柱と横架材を用いた久米式耐震木骨構造とする。その外側をモルタル仕上げとして、開口部廻りに擬石(ぎせき)をあしらひ、バルコニー腰壁にメダリオンを飾る。	3	住宅	建築物
34	旧足立家別邸主屋	神奈川県三浦郡葉山町	S8/R2改修	葉山町西部の山裾に位置する実業家の別邸で、設計は佐藤功一。ハーブインパースとガラス窓を多用した外観が特徴。内装材には王子製紙製繊維板のトマテックスを多用する貴重な住宅。	2	住宅	建築物
35	小鍛冶屋(こかじや)(旧高島家住宅)主屋	新潟県新潟市	E末期/M中期・T前期改修	岩室温泉郷の北端に位置する元は板葺きの町家型住宅。正面側の玄関土間は数寄屋(すきや)風で、奥座敷は吹抜で高窓を設ける。街道との間に前載(せんざい)を置く旧家の表構えが歴史的景観を形成。現在、料理店として活用。	1	住宅	建築物
36	習静菴(しゅうせいあん)茶室	新潟県小千谷市	T後期/H13・同19移築	習静菴は市内安達家にあった切妻造の茶室で、平三量向切茶室と四畳半待合を壁を挟んで並べ、欄り口側の土庇で繋ぐ。土庇と土間飛石は雁木(がんぎ)を思わせる構成。土蔵は市内千谷川(ちやがわ)の星野家にあつたもので、全体に材が大きく、積雪に備えた雪国の土蔵。現在、公園施設として活用。	2	住宅	建築物
37	習静菴(旧三星屋)土蔵		M前期/H19移築		2	住宅	建築物
38	旧藤田家住宅(いたくら亭)主屋	新潟県上越市	T12/S63・H13改修	旧板倉町中心部に所在する医家の住宅で、診療も行った。主屋は関田山地(せきたさんち)を望む天井の高い二階建て座敷棟と、床構え付き待合を配した入母屋造り医院玄関棟からなる和風医院。土蔵は主屋の北に渡り廊下で接続し、全体を鞘で覆う。中央に太い柱を立てた雪国の土蔵の典型。現在、料理店として活用。	1	住宅	建築物
39	旧藤田家住宅(いたくら亭)土蔵		S元/H15改修		1	住宅	建築物
40	高野醬油味噌醸造店店舗兼主屋	新潟県上越市	S7/同30代増築	雁木が連なる高田市街の醸造店。店舗兼主屋は東正面一階にガラス障子を建込む。内部には前土間から奥へ通り土間とし、北を吹抜けの茶の間、南を作業室とする。土蔵の蔵前にはナガシバを置く。土蔵及び作業場は、醸造店主屋の背後に接続する内蔵形式の家財蔵。鞘を掛け、奥は窯場やムロなど醸造用作業場とする。雪国の伝統的な醸造業の様子を示す。	1	産業2次	建築物
41	高野醬油味噌醸造店土蔵及び作業場	新潟県上越市	M39/S7頃増築		1	産業2次	建築物
42	旧酢屋呉服店店舗兼主屋	新潟県上越市	M41/S前期改修	直江津の中町通りにある呉服店。店舗兼住宅は正面側の入母屋造り、軒は出し桁造り、霧除庇(きりよけびせ)の豪壮な外観を通りに見せる。正面雁木(がんぎ)や、内蔵が面する吹抜けの茶の間は雪国らしい構成。二階二十畳座敷では客を招いて祇園祭を手摺り越しに観覧した。土蔵は覆屋を架けた内蔵形式で、店舗に向けた掛子塗りの扉口は太い鳥居枠で飾り、商品の出し入れに用いた。現在、工務店事務所として活用。	1	産業3次	建築物
43	旧酢屋(すや)呉服店土蔵		M4		1	産業3次	建築物
44	旧早川タンス店(越後高田薬市薬座)店舗	新潟県上越市	S22	越後高田の材木屋が集まった通りにある葺筒店。軒を出し桁造り、一階に雁木が付く。内部は前土間とミセを設け、二階表側は広い加工場、葺筒の荷揚げ口を備え、歴史的景観を伝える葺筒店。現在、地域交流拠点として活用。	1	産業2次	建築物
45	旧石川県繊維協会館	石川県金沢市	S27/同59改修	金沢北西の市街地にある繊維協会の会館で、設計は谷口吉郎。タイル貼りの白壁、細い柱形のコンクリート造で、モダンイズムと和風建築を軽快に昇華する。階段廻りの亀甲石貼や折鶴形蛍光灯など金沢に相応しい。現在、教育施設として活用。	2	産業3次	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
46	高家住宅主屋	石川県小松市	M中期	日用形(ひょうすぎ)で知られる集落の林家の屋敷。主屋は加賀地方妻入り民家の典型で、広大な広間と仏間を有し、各室の軸部や建具は漆塗仕上げ。柱に日用杉を多用する。土蔵は主屋の西に並び、西側の米倉と東側の漬物蔵からなり、二棟一体で棧瓦葺屋根を架けた長大な土蔵。地域の歴史を伝える旧家の豪壮な民家。	1	住宅	建築物
47	高家住宅土蔵		M中期		1	住宅	建築物
48	吉田家住宅(旧東小林家住宅)主屋	福井県越前市	M前期/S4改修	越前和紙産地の岩本町にある紙商いの在郷商家。主屋の外観は町家風で、間取りは越前地方農家の定型に近い造り。座敷棟は主屋の奥に接続する平屋建で、式台から仏間を抜けて座敷に至る。座敷は長押を廻さず、簡素ながらも柱や天井を漆塗で仕上げた華やかな座敷棟。和紙で栄えた地域の歴史を伝える住宅。	1	住宅	建築物
49	吉田家住宅(旧東小林家住宅)座敷棟		E末期/S10増築		1	住宅	建築物
50	山梨英和中学校・高等学校講堂 グリーンバンク・チャペル	山梨県甲府市	S24/同40頃・H17改修	ミッションスクールのチャペルで設計は塩川旭。1階は鉄筋コンクリート造煉瓦貼り、2・3階の講堂は木造モルタル仕上げ、屋根は切妻造りT字形スレート葺き。講堂上部はキングポスト・トラスの合掌材を勾配天井に巧みに隠し、洗練された吹抜けとする。	2	学校	建築物
51	下今井諏訪神社諏訪社	長野県松本市	寛延3(1750)/S13改修	下今井の水田と社叢に囲まれた氏神社殿。諏訪社は、一間社流(ながれ)造りで元こけら葺き、緩い曲りの海老虹梁(えびこうりょう)や絵様(えよう)等は時代相を示し、水引虹梁(みずひきこうりょう)上の、波に免の透かし彫り欄間(らんま)と諏訪の神紋入葺殿(かえるまた)は洗練された意匠。八幡社は、諏訪社の北側に並ぶ相殿(あいでん)で、南耕地集落から移築したもの。一間社流造、強い曲りの海老虹梁や装飾性の増した絵様等、諏訪社と異なる時代相を示す。八坂社は、諏訪社の南に並ぶ相殿で、北耕地集落から移築したもの。一間社流造り、内部は外陣を広くとる。向拝(こうはい)欄間に立体的な丸彫りの龍を配し、身舎(もや)頭貫(かしらぬき)等の横に潰れた渦の絵様は諏訪社・八幡社とは異なる時代相。神楽殿は、鳥居と拝殿の中間に位置し、軒は出桁造りで支え、元は茅葺き。正面に龍の鑿絵(こてえ)欄間と虹梁を掲げ、四方吹放ち、腕木で高欄付縁を廻らす。床下に残る炉は祭事などで、水管理の会合も行ったと伝わる。この地域に存続する特異で洗練された彫刻を施す社殿の好例。	3	宗教	建築物
52	下今井諏訪神社八幡社		寛政2(1790)/T4移築・S13改修		3	宗教	建築物
53	下今井諏訪神社八坂社		嘉永4(1851)/T4移築・S13改修		3	宗教	建築物
54	下今井諏訪神社神楽殿		万延元(1860)/M16改修		1	宗教	建築物
55	續麻(つうそ)・今井(兼平)神社 續麻社	長野県松本市	安政6(1859)/S10改修・同22移築	上今井の鎮守の森に所在する社殿。續麻社は産土神を祀る本殿で、兼平社の北に並ぶ。一間社流造、曲りの強い海老虹梁で向拝を付し、正面建具は青海波(せいかいは)の格子戸を建て、向拝水引虹梁や手挟等を彫刻で華やかに飾る。兼平社は氏神を祀る本殿で、木曾義仲に従った今井兼平を祀る。一間社流造り、正面に唐破風、千鳥破風を重ねる。向拝柱筋と萱蒲桁(しよふけた)筋に各々精緻な彫刻を施した手挟みを付し、虹梁欄間の龍彫刻等全体に華やかに飾る。神明社は兼平社の南に合祀した社殿で、一間社見世棚造り、正面格子戸で、内部は内外陣に分けて宮殿(くうでん)を安置する。兼木(しんらき)造りで簡明な社殿。神楽殿は、切妻造り平入り棧瓦葺きで、元は茅葺き。内部は一室の板敷きで天井を張らず小屋を現し、本殿前の祭礼空間となる。この地域に存続する特異で洗練された彫刻を施す社殿の好例。	3	宗教	建築物
56	續麻・今井(兼平)神社兼平社		天保4(1833)/S85改修		3	宗教	建築物
57	續麻・今井(兼平)神社神明社		安永9(1780)/天保12(1841)改修・T4・S22移築		1	宗教	建築物
58	續麻・今井(兼平)神社神楽殿		嘉永6(1853)/S22移築		1	宗教	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
59	旧小穴家住宅主屋	長野県松本市	T後期/S30代・同40代改修	松本城北側の住宅地に所在する近代住宅。主屋は平屋建て、切妻造り浅瓦葺き、棟中央向面に切妻破風を設け、浴室気抜きとする。内部は西面の玄関ポーチから中廊下を通す平面で、外観含めて大正の息吹を示す。書庫は、主屋の東に接続するモルタル塗り仕上げの2階建て倉庫で、窓に鉄扉を吊る。離れは主屋の南東にある下見板張りの平屋建て。内部は畳敷きの二室で、折上げ天井を漆喰仕上げ、木枠縁取りとして、洋風にまとめた丁寧な造り。城下の近代住宅地の変遷を伝える上質な住宅。	1	住宅	建築物
60	旧小穴家住宅書庫		T後期/S35頃移築		1	住宅	建築物
61	旧小穴家住宅離れ		S11/同62改修		1	住宅	建築物
62	黒川堰迫平隧道	長野県松本市	M34頃/T4・S12改修	梓川(あずさかわ)右岸にある農業用水路の隧道で、下流の河岸段丘上を灌漑(かんがい)する。開削当初は素掘りで、大正期に切石積アーチ構造とした。側壁は現場の岩を利用し、アーチ部は梓川の花崗岩等を利用した。コンクリート普及以前の隧道として貴重。	1	産業1次	土木
63	旧料亭(信濃離れ)菊の間	長野県諏訪市	T前期/S中期増築	上諏訪駅南の大正から昭和にかけての繁華街に所在する料亭の離れで、入母屋造り浅瓦葺きの平屋建て二棟。菊の間は、床構えや書院、窓廻りや天井に多様な竹を散り蒔め、細部まで技巧を凝らす。桐の間は、座敷の畳床と両床脇の構成は近代らしく、銘木や竹をふんだんに用い、内外に渡り技巧を凝らす。煎茶(せんちゃ)趣味が溢れる上質な数寄屋風の離れ。	3	産業3次	建築物
64	旧料亭(信濃離れ)桐の間		T前期		3	産業3次	建築物
65	山崎長兵衛商店旧店舗(荒町T heGATE)	長野県小諸市	T15/S30代移築	小諸城下に所在する商家の洋風店舗。二階建て、石造風のモルタル仕上げファサードを立ち上げる。一階南半を商品置場、北半を土間とミセ、二階は大きな続き間座敷とする。街道沿いの歴史的景観を形成する。現在、商業施設として活用。	1	産業3次	建築物
66	栗林家住宅(創舎わちがいがい)店舗	長野県大町市	T後期/H17改修	大町中心市街地の通りに面する町方庄屋の店舗と住宅。店舗は切妻造り平入りの町家で、正面に格子戸を建て、南側を通り土間、北側を表から前土間、ミセ、オエ、カッテを並べる。二階には床構え付座敷を設ける。主屋は、通から門、庭を介して位置し、南側の店舗側面後方と接続する。庭に面して床構え付座敷、背面側に家人用座敷を並べる。門及び塀は、店舗の北に連なる薬医門(やくいもん)と板塀で、門は装飾は殆ど無いが、格式有る構えで通りに開いて主屋へ導く。町の要職を務めた旧家の佇まいを伝える。現在、料理店として活用。	1	産業3次	建築物
67	栗林家住宅(創舎わちがいがい)主屋		E末期/M前期改修		1	住宅	建築物
68	栗林家住宅(創舎わちがいがい)門及び塀		M前期		1	住宅	工作物
69	鶴樓(かろろう)(福井家別荘主屋)	長野県北佐久郡軽井沢町	S16	ヴォーリズ建築事務所設計の木造二階建別荘。下見板張りと暖炉の石積が目を引き。一階の居間と食堂は衝立(ついたて)で、二階は続き間座敷として、各階緩やかに二室に区切り、大きな出窓を開け眺望を誇る。洋室の用材吟味し、数寄屋の佇まいを呈する。	2	住宅	建築物
70	旧小野郵便局局舎	長野県上伊那郡辰野町	S7/同23増築	伊那街道小野宿に所在する近代の郵便局舎。下見板張りの平屋建てで、内部は表側を窓口事務室とし、奥は中廊下の両脇に部屋を並べ、うち一室は床構え付座敷とする。営業時のカウンターなど残り、宿場の近代化を伝える貴重な局舎。	1	官公庁舎	建築物
71	喜多屋新井家住宅主屋	長野県上伊那郡宮田村	E後期/S10代・同29・同50改修	伊那街道宮田宿に所在する荷問屋や醤油醸造等を手掛けた旧家の町家で、主屋と醸造用土蔵を一体として屋根を架ける。主屋は切妻造り平入りで二階に真壁造の貫を見せる。北側醸造蔵の周囲を土間、南側を床とし、南西に仏間と床構え付き座敷を配す。軒が低く間口長大。東蔵は主屋背面側に位置し、穀蔵・衣裳蔵・道具蔵を兼ねた大きな土蔵に、文庫蔵と通路を南北に並べて一体で浅瓦葺き屋根を架ける。外壁は漆喰仕上げで腰は海鼠壁(なまこかべ)とする。宿場の歴史と住時の町並みを今日に伝える。	1	住宅	建築物
72	旧喜多屋新井家住宅東蔵		E後期/天保14(1843)増築		1	住宅	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
73	旧井桁屋新井家住宅(タカノ株式会社)文庫蔵	長野県上伊那郡宮田村	E末期 M31/H14改修	伊那街道宮田宿に所在する旅籠や菘種油商を手掛けた旧家の土蔵二棟。文庫蔵は敷地奥に位置し、新蔵は街道に面して位置する。ともに土蔵造二階建て、腰は海鼠壁とし、戸前となる下屋を塗籠にする。文庫蔵の掛子塗観音扉は鏤絵を見せ、新蔵は街道に面して各階に窓を設けて掛子塗観音扉を開く。宿場の歴史的景観をつくる重厚な土蔵。現在、会社倉庫として活用。	1	住宅	建築物
74	旧井桁屋新井家住宅(タカノ株式会社)新蔵				1	住宅	建築物
75	正木屋山浦家住宅南蔵	長野県上伊那郡宮田村	慶応4(1868)/S30代改修	伊那街道宮田宿に所在する造り酒屋の二階建て土蔵。街道側が米蔵、奥側が座敷蔵で、切妻造り棧瓦葺き屋根を一体で架け、腰は海鼠壁とする。座敷蔵は数寄屋風の床構えを設け、周囲の建具を板絵で飾る。宿場の華やかな文化を伝える土蔵。	1	住宅	建築物
76	真龍寺本堂	岐阜県岐阜市	M14頃/T9・R2改修	百々ヶ峰(どがみかね)を背に境内を構える浄土真宗寺院。本堂は正面七間で向拝を構える。平面は内外陣間に矢来(やらい)内、内陣左右に余間を配す等、真宗本堂の典型。長大な虹梁で柱を省略して外陣を大空間とし、小組格天井、金箔押し彫刻欄間を柱敷する。玄関及び茶室は、本堂と庫裏を繋ぐ渡り廊下と、その南側の唐破風玄関、北側の切妻造四畳半茶室からなる建物。茶室と廊下境腰壁を無双窓(むさうまど)として来客を知る、機能的な玄関と接客空間。鐘楼は内転びの礎盤付円柱を虹梁等で固めた方一間吹放ちで、軒を二軒(ふたのき)とし、格天井を張る。山門は境内南正面に開く薬医門。墓股に精緻な龍を彫り、内部に小組格天井を張る。本堂から山門まで親方弟子で棟梁を務め、地元大工一派の仕事を伝える。	2	宗教	建築物
77	真龍寺玄関及び茶室		T後期		2	宗教	建築物
78	真龍寺鐘楼		M31		1	宗教	工作物
79	真龍寺山門		S23		1	宗教	工作物
80	旧テークス熱海別邸(稲村ハウス)主屋	静岡県熱海市	S17頃	伊豆の海沿い屋上に建つ木造平屋建て下見板張りの別荘。設計は前川國男建築設計事務所。居間の海側は天井まで全面ガラス戸とし、磨き丸太の独立柱と一体化した戸棚等にモダニズム表現の特徴を示す。現在、宿泊施設として活用。	2	住宅	建築物
81	旧伊東合資会社主屋	愛知県半田市	E末期/M中期・T2増築	衣浦湾(きぬうらわん)沿いの街道に面して醸造業を営む庄屋格の旧家。主屋は切妻造り平入りの長大な町家で、内部は東に重厚な梁柱を見せる土間、西に田の字型平面の居室、さらに西へ端正で格式を伝える続き間座敷を連ねる。書院は主屋の西に渡り廊下で繋ぐ離れで、寄棟造り棧瓦葺き、四周銅板葺きの庇を付し、三間続きの間取りとする。華美を避け洗練された意匠の数寄屋風建築。本土蔵は敷地西辺の水路沿いに建つ家財蔵で、東正面は腰を海鼠壁、水路沿いに下見板張を見せ、土蔵の間取り等は当地域の定型で、当家は特に豪壮な屋敷構えとする。	2	住宅	建築物
82	旧伊東合資会社新座敷		M中期		2	住宅	建築物
83	旧伊東合資会社本土蔵		E末期		1	住宅	建築物
84	杉浦家住宅主屋	愛知県西尾市	E末期/T10頃・S61改修	一色町中心部の江戸期に名字帯刀を許された旧家で、近代に醸造業を手掛けた。主屋は切妻造り平入りの長大な町家で、内部は東に太い梁柱を見せる土間、西に六間取り平面の居室とする。無目の差鴨居や改修痕に古めかしさがあり、仏間に上段を附属するなど格式を備える。書院は主屋の西側に接続して建つ接客用の座敷棟。床柱に杉磨き丸太を用い、四角に内法長押を廻して室境に板欄間を嵌めるなど、主屋の仏間と異なった近代和風の趣を見せる。当家の間取り等は当地域の定型で、主屋は古様が入り混じる。	2	住宅	建築物
85	杉浦家住宅書院		M中期		2	住宅	建築物
86	於茂千也函(おもちゃばこ)(伊藤家住宅土蔵)	三重県四日市市	E末期/M前期・S前期改修	旧富田町に所在する、土蔵を改造して郷土玩具を収納・展示する建物。切妻造り棧瓦葺き、腰は海鼠壁で、東半を収納のための土間、西半を床上2室とし、展示のための数寄屋風天井の間、書院付きの奥座敷とする。趣味人の数寄屋風座敷蔵。	2	産業2次	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
87	かつおの天ばく主屋	三重県志摩市	S26	太平洋を望む大玉崎(だいおうさき)に所在し、かつては波切(なみのり)の漁港で水揚げした鰹を直ちに加工し、現在も鰹節製造をおこなう住居と作業場。主屋は瓦葺きの平屋建て、鰹を茹でる厨房に、広間と座敷の二間を並べてそれぞれに小間を付す。作業場は瓦葺き二階建て、開放的な輝し小屋と閉鎖的な襦付け小屋を一体で建て、主屋との間の作業場に大屋根を架ける。燗乾窯(ばいかんがま)等と共に鰹節製造の伝統的な工程を示す。	1	住宅	建築物
88	かつおの天ばく作業場		S26		1	産業2次	建築物
89	明覚寺(めいかくじ)本堂	京都府京都市	M30頃	東本願寺の西隣に位置する浄土真宗本願寺派の寺院。本堂は入母屋造りの玄関を正面に構える。十二畳二室の外陣や余間(よま)の構成が変則的な平面で、左余間は棟梁を建込んだ上段の間とし、小規模だが格調高い設えとする。杏梁庵(きょうりょうあん)は本堂裏手に位置する四畳半茶室で、大谷光瑞ゆかりの茶室。土蔵は二階建て、漆喰塗りの腰板張り、茶室の南側に位置して露地の背景となる。山門は新町通りに開く薬医門で、板臺股と懸魚(げぎょ)で飾る。洛中の歴史的景観を形成する。	1	宗教	建築物
90	明覚寺茶室杏梁庵		T9/S初期移築		2	宗教	建築物
91	明覚寺土蔵		M30頃		1	宗教	建築物
92	明覚寺山門		M30頃		1	宗教	工作物
93	帝国信栄本社屋(ほんしんしゃおく)	兵庫県神戸市	S前期	三ノ宮駅北側の市街地に所在する鉄筋コンクリート造の商業ビル。交差点に面する角を正面入口とし、御影石縁取りと垂直性を強調した柱形でセセッションを取入れる。営業室の柱には変形したイオニア式柱頭飾を付す。	2	産業3次	建築物
94	澁谷(しぶや)家住宅主屋	兵庫県豊岡市	弘化3(1846)頃/文久3(1863)・M35・H3改修	絹織物産地の街道沿いに所在する旧家。主屋は越屋根と虫籠窓を設けたつし二階建ての養蚕民家。平面は六間取りで、表座敷に付書院付きの床構え、ミセノマを帳場とする。本陣や郵便局に供した地域の中心的な建物。	1	住宅	建築物
95	旧東山東(ひがしさんどう)農業協同組合事務所	和歌山県和歌山市	S23/同40・R3改修	田園地帯の集落にある農業組合事務所。半切妻造り妻入りの二階建てで、下見板張りで軒際モルタル仕上げとし、正面頂部ガラリと二階の二連窓が特徴的。一階は事務室、二階に広間と電話交換室等配し、農村の賑わいを伝える。現在、地域交流拠点として活用。	1	産業1次	建築物
96	堀越積(しゃく)観音庫裏	和歌山県伊都郡かつらぎ町	E末期	葛城修験(かつかざしゅげん)行所(ぎょうしょ)の一つで、本堂西隣に位置する庫裏。入母屋造り茅葺き、西側に竈を置く土間、東側を六間取り雑座敷として縁を廻らす農家風の建物。おだち組の小屋など古式を示す。日本遺産「葛城修験」の構成要素。	1	宗教	建築物
97	旧堀田茶舗(立石茶屋)店舗	和歌山県有田郡湯浅町	E末期/H19改修	熊野街道と深草寺参道の四ツ辻北東角にある茶を扱った商家。店舗はつし二階建て平入の町家。外部は軒を塗込めて防火とし、虫籠窓(むしこまど)を設ける。内部は前土間を構えて、通り土間に一列二室を沿わす。座敷棟は店舗の背面に位置する二階建て住居で、壁を銅板張りとし、二階に洋室を設ける。土蔵は内部の風食の程度から、頻繁な搬出入を行った商品蔵で、側面を通りに面して歴史的景観を構成する。四ツ辻の往時の賑わいを伝える。	1	産業3次	建築物
98	旧堀田茶舗(立石茶屋)座敷棟		S9		1	住宅	建築物
99	旧堀田茶舗(立石茶屋)土蔵		E末期/S前期・H23改修		1	住宅	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
100	天日名鳥命神社本殿	鳥取県鳥取市	T2	鹿野城(しかのじょう)と鳥取城(とりとりじょう)を結ぶ道沿いの、丘上に所在する式内社。本殿は一間社流造り銅板葺きで、床が高く四方に縁を廻す。全体に装飾は抑制的だが、龕股等彫刻意匠に近代的な華やかさがある。幣拝殿は入母屋造り妻入りで、正面に入母屋造り起り破風の向拝を設け、懸魚を重ねる。本殿彫刻に比べて伝統的な意匠。建築時の設計書を備え近代の杜殿造営の様相を伝える。	1	宗教	建築物
101	天日名鳥命神社幣拝殿		T2		1	宗教	建築物
102	新比恵(いまいひえ)家住宅主屋	島根県益田市	T9頃/S52改修	日本海を背にした漁村の旧家。主屋はつし二階建て、入母屋造り平入りの大型民家で、外壁は軒裏まで漆込め、漆喰と石州瓦が鮮やか。内部は6室を配し、東側を玄関土間とし、西側を六間取りとする。重厚な構えで浜沿いの集落景観をつくる。	1	住宅	建築物
103	戸田家住宅主屋	岡山県新見市	天明6(1786)頃/T5頃・S35・同43改修	中世山城の麓に長大な石垣を構えた旧家。つし二階建て、入母屋造り平入りの主屋で、二階壁は海鼠壁に虫籠窓を開ける。内部は土間と六間取りの平面で、庭に臨む座敷は付書院床構えとする。式台を備え、太い梁組は庄屋らしく豪壮。	1	住宅	建築物
104	旧尾道市役所百島支所庁舎	広島県尾道市	S29/R元改修	百島北東の集落にある役場庁舎。木造二階建て、半切妻造りで、縦長窓を基調に洋風とし、正面頂部ガラーと二階の四連窓が時代相を示す。二階はキングポスト・トラスで大広間とし、一階カウチャー付事務室が在在時を伝える。現在、ゲストハウスとイベントスペースとして活用。	1	官公庁舎	建築物
105	三所神社本殿	香川県丸亀市	天保元(1830)	塩飽本島(いわくぼんじま)の生ノ浜浦(いののはまうら)に所在する神社。本殿は一間社流造り、板支輪(いたしりん)の彫刻、手狹や木鼻の丸彫り彫刻等、巧緻で躍動感があり塩飽大工の力量が示される。幣拝殿は入母屋造りで、正面に千鳥破風、唐破風向拝を重ねる。水引虹梁、龕股、手狹(たばさみ)、向拝の彫刻に技量を示す。本殿は塩飽大工の活動盛期、幣拝殿は活動末期の建築で、塩飽大工の歴史を伝える杜殿として貴重。	3	宗教	建築物
106	三所神社幣拝殿		M30		3	宗教	建築物
107	松賀屋主屋	香川県三豊市	T5	仁尾浜塩田を開いた商家。主屋は入母屋造り本瓦葺きで、通り土間を前後で区切り、床上は階段室を中心に整然と九室並べ、二階も同様とした宏大な座敷で造作の質高く華やか。東側道路に面する玄関棟は入母屋造り平入りで、正面に下屋を設ける。南から土間、取次、茶室を配する。正面に出格子を飾り、つし二階は鼠漆喰塗で虫籠窓を開き、商家の表構えを整える。土蔵は、玄関棟南に続き、銅板葺き庇と特送りを付した虫籠窓を通りに開く。豪商の威風を示す近代和風邸宅。	2	住宅	建築物
108	松賀屋玄関棟		M後期		1	産業2次	建築物
109	松賀屋土蔵		M後期		1	産業2次	建築物
110	丸岡家住宅主屋	香川県三豊市	T後期/S前期・同52改修	旧下高瀬村中心部で呉服店や郵便局を営んだ商家。主屋は入母屋造り二階建ての屋敷構えの中核で、2階は眺望がきく座敷とする。玄関棟は主屋の表側に位置し、控えの間、玄関間、書院付八畳座敷から成り、全体に教寄屋風意匠で、精緻な前彫床柱が出色。居室棟は洋風店舗の背面に接續し、商家裏玄関の役割を果たす実用的な住居で、菅匠は丁箆で華美にせず質実。土蔵は敷地背面側に位置し、漆喰塗りの腰海鼠壁で、練形や鏝絵を施す。屋根裏は割竹土居葺きとするなど内部は素朴な造り。表門は通りに開く袖扉付薬医門で、軒先銅板葺き、扇垂木(おうきたるき)木舞打ちとし、隙のない教寄屋風意匠で、洋風店舗と好対照をなす。表土塀・南土塀・裏土塀は敷地外郭を形作る瓦葺きの塀で、街路景観を形成する。屋敷全体として、既登録の洋風店舗(旧丸岡呉服店)とともに、地域の景観の核となる。	1	住宅	建築物
111	丸岡家住宅玄関棟		T後期		2	住宅	建築物
112	丸岡家住宅居室棟		S10		1	住宅	建築物
113	丸岡家住宅土蔵		M36/S12改修		1	住宅	建築物
114	丸岡家住宅表門		T後期		2	住宅	工作物
115	丸岡家住宅表土塀		T後期		1	住宅	工作物
116	丸岡家住宅南土塀		M後期		1	住宅	工作物
117	丸岡家住宅裏土塀		M後期		1	住宅	工作物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
118	足摺海底館	高知県土佐清水市	S46	鶴岡丸跡に築かれた海中展望塔。円筒形塔部と十字形平面の展望室を、H型鋼と外殻板等の全溶接で一体化した鋼構造物。丸窓を多用し、自然美の中で異彩を放つ近未来的デザインの海洋レジャー施設。	2	文化福祉	建築物
119	篠山神社本殿	福岡県久留米市	M12/S5改修	久留米城本丸跡に所在する神社で有馬家藩主を祀る。本殿は三間社入母屋造り妻入りで、出組と二軒繁垂木(しげだるき)で深い軒を持ち出す。大屋根に向拝を取り込む特異ながらも端正かつ堂々たる構えの大型本殿。拝殿は入母屋造り平入で、三間幅の広い向拝を付け、内部は折上げ格天井とする。正面棧唐戸、背面引分戸の他は全て葺(しとみ)を吊る開放的な大型拝殿。本殿と拝殿の間に位置する中門は、平唐門で、幕股や懸魚に有馬家紋をあしらひ、建物の由緒を織り込む。中門左右に延びて本殿を取り囲む堅格子の透塀は、江戸切り仕上げの石積み、腰を櫓棧とする。大型社殿を中心として近代らしい境内を構築する。	2	宗教	建築物
120	篠山神社拝殿		M12/S5改修		2	宗教	建築物
121	篠山神社中門		M12/S5頃改修		2	宗教	工作物
122	篠山神社透塀		M12/S5頃改修		1	宗教	工作物
123	若八幡宮本殿	福岡県糟屋郡久山町	寛政11(1799)/S元改修	犬鳴山南西麓に位置する産土神の神社。本殿は三間社流造りで、正面に三間の向拝を付し、向拝虹梁廻り、木鼻や幕股、妻飾り、脇障子等を華やかな彫刻で飾る。建立年代明確で、彫刻優美な本殿。拝殿は、切妻造り妻入りで正面に一間の向拝を付す。幣殿は、両下造りで組物は大斗肘木とし、虹梁上に板幕股を載せて化粧棟木を支持する。幣殿と拝殿とも丁寧に装飾施す。社叢に囲まれ、村の歴史的景観を伝える。	3	宗教	建築物
124	若八幡宮拝殿		元治2(1865)/T14・H13改修		1	宗教	建築物
125	若八幡宮幣殿		T13/S53改修		1	宗教	建築物
126	庄野家住宅金蔵(かねぐら)(旧佐賀城本丸御蔵(おくら))	佐賀県佐賀市	E末期/M前期・S45移築	佐賀城南西、国道に南面した旧家に所在する土蔵で、佐賀城本丸御蔵(おくら)を移築したもの。土蔵造り二階建て、一階北面に窓籠の下屋を付す。軒は曲線状の揚袋りで、腰高の壁板張とする。佐賀城の遺構として貴重。隠居所は金蔵の西に建ち、入母屋造で四周に庇を廻らす。続き間座敷の額入障子や欄間・付書院障子に用いた精緻な組子が目を引く近代和風の書院。	2	住宅	建築物
127	庄野家住宅隠居所		S前期/S45移築		2	住宅	建築物
128	脊振(せぶり)小学校石門	佐賀県神埼市	T3/S30移築	市北部の山間に所在する小学校の門。おおよそ高さ4メートル、1メートル角の花崗岩江戸切り仕上げの石柱2本で、大正天皇即位記念で村民有志が建設した。学校のシンボルで、稀に見る大きさの石門。	1	学校	工作物
129	若城金物店店舗兼主屋	熊本県宇城市	E末期/天保13(1842)増築・S42改修	薩摩街道に北面する商家。店舗兼主屋は、切妻造り平入りの東西棟に、切妻造り妻入りの南北棟が接続した二階建ての間口長大な町家。土間に太い梁を見せ、広い続き間座敷を配し、外壁は軒裏まで塗り込める重厚な構え。厨房は店舗背面側にあり、土間の東に煉瓦櫃、西に井戸と流しを配す。納屋は、厨房南に接続し、北半を味噌倉、南半二階建ての一階を開放的な物置、二階を居室とした。格子や突上窓(つきあけまど)を用いる伝統的な造り。店蔵は敷地東辺の長大な米蔵で、一階は窓を設けず、木材を打ち付けて壁を保護し、米収納の様子を示す。戦前から金物店を営み、街道沿いの往時の歴史的景観を伝える。	1	産業3次	建築物
130	若城金物店厨房		E末期		1	産業3次	建築物
131	若城金物店納屋		E末期		1	産業3次	建築物
132	若城金物店蔵		元治元(1864)		1	産業3次	建築物

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	基準	種別	基準
133	片岡家住宅主屋	熊本県阿蘇郡西原村	M13頃/同38増築・S30頃 改修	阿蘇外輪裾野の農村に所在する在御家人(さいごけにん)の住宅。四間取り床土部分で元は東に土間があった。南に数寄屋意匠の四畳半茶室を付す。座敷は欄間を多用して開放的。旧家の佇まいを伝える。	1	住宅	建築物
134	旧大分県立大分図書館(アートプラザ)	大分県大分市	S41/H9改修	建築家磯崎新の初期代表作。鉄筋コンクリート造三階建て、地下一階の図書館建築。打放しの中空梁、巨大なペーパーウォールを用い、スキップフロアを多用した巧みな空間構成は独創的である。現在は、アートプラザとして活用。	2	文化福祉	建築物
135	服部植物研究所研究・標本棟	宮崎県日南市	S29頃/同42改修	飯肥(おひ)城下にある世界的に著名なコケ専門研究所の敷地奥に建つ木造総二階建ての研究棟。1・2階を貫く柱形で垂直性を強調した簡素な外観。創設時から残る研究施設で、通り沿いの洋館とともに親しまれた町の景観を構成する。	1	文化福祉	建築物
136	山(さん)小学校校舎	鹿児島県大島郡徳之島町	S30/同44増築	徳之島北東部に所在する鉄筋コンクリート造二階建ての校舎。各階教室を二室並べ、南側を開放廊下、西端に階段室を付す。後年更に西側に増築。米国民政府工務交通局の標準設計に共通し、正面の開放廊下が印象的な校舎。	1	学校	建築物

注
建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。
種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。
基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。